



教育センター・育成センター所報

GALILEI



育成座の啓発活動

中央コミュニティセンター



比角第一児童クラブ



枇杷島児童クラブ



育成委員研修会

CONTENTS

- 今月の巻頭言 P 1
 - ★「平等」って？
 - 教育センター運営委員
 - 柏崎市立第一中学校 校長 廣川 正文
- 教育センターだより P 2
 - ★アクセス（教育研究班） P 2
 - ★プロジェクト K（科学技術教育センター） P 6
 - ★心の窓（教育相談班） P 10
- 青少年育成センター通信 P 11
- 3月の行事予定表 P 13
- 所員随想「つれづれ」 P 13
 - ★身近なしあわせ
 - 教育相談班 相談員 鈴木 皓子

平成26年2月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

「平等」って？



教育センター運営委員
柏崎市立第一中学校
校長 廣川 正文

『子どもや親が「不平等」とか「えこひいき」とかという言葉をつかって、教師の指導に対する不満を言うてくることもあるかもしれないが、そんなときには「平等」ということについてよく考えてもらいなさい。家庭環境、健康状態、日頃の生活態度、授業態度、部活動への取組など、みんな一人一人異なるのに、誰に対しても同じ指導をすることが平等だと思いますかと。』

教育実習の時の指導教諭の言葉である。教員になってからもずっと、時々この時のことを思い出す。一人一人にあった適切な声かけ、指導になっているか考えるためには、その子のことをどれだけ知っているかが鍵となる。

遅刻が増えた生徒に対する指導の中で、母親が病気で入院していて、しばらくは弟を保育園に連れて行きながら登校しているということを知る。このことを知っているのといないのではかける言葉も変わってくる。さらに、この事実を学級全体が共有しているのといないのでは、子どもたちの心の動きにも違いが出てくる。「また遅刻かよ」から「たいへんだね。早く退院できるといいね」に変わる。

皆さんもよく知っている『五体不満足』の著者である乙武 洋匡さん。障害のある彼がみんなといっしょに元気に楽しく学校生活を送ることができるようにとクラスのみinnで考えた「オトちゃんルール」。このルールのおかげで彼は、野球、サッカー、ドッジボール、バスケットボール、マラソンなど何にでも挑戦し、仲間といっしょに楽しんでいる。障害があるとどうしても手助けをしてもらわなければならないことがある。でも、それは誰でも同じことである。手伝ったり、助けてもらったりしながら生きているのだから。

今年度も終わりに近づいている。また、四月には新しい出会いが待っている。学級開き、授業開き、部活動開きなど、様々な場面で自分の指導のモットーを語ってほしい。

「私は、えこひいきはしない。できるだけ一人一人に合った声かけや指導をしたい。そのためにも、一人一人が自分自身のことをどんな小さなことでもいいから聞かせてほしい。自分もまわりも大切にできる人になれるよう、いっしょに頑張ろう」こんな言葉がけでスタートしてみてもいいかな。

ものづくりでは、社会的、環境的、経済的側面が大事

◆1/21(火) 中学校技術分野教材研究

講師 柏崎市立第一中学校教諭 市村 尚史 様

この講座は第一中学校の市村尚史先生を講師にお招きし開催しました。その中で、テーブルタップの昔と今を比較しながら、ものづくりの過程では「社会的、環境的、経済的」側面であることを強調されていました。誰のためにどんなものを作るかを考える際のキーワードになるとともに、このようなものづくりを具現化する単元指導構想も紹介されました。

参加者の感想として「指導の背景となる本質的なことを学んだ」「ただ作らせればよい、というだけではないことを肝に銘じていきたい」等、技術科教師としての在り方に触れる記述が多く多くありました。



講師の市村尚史先生

協働型で学びを深めていく

◆1/22(水) 中学校家庭分野 教材研究

講師 長岡市立東北中学校教諭 野池 知枝美 様

この講座は長岡市立東北中学校教諭 野池 知枝美先生を講師にお招きし開催しました。先生は3つの実践「快適な衣生活」「家族とのかかわり」「消費者としての自覚」について実際の流れも含めご紹介いただきました。また、協働型の学びについて、「幼児の育つ環境」をテーマに参加者が演習を行ったり、教材観に関する対話を取り入れたりする場を設定、実りある研修となりました。

参加者の感想として「野池先生の教材研究の深さに感動」「学びの質の高さに刺激を受けた」等、今後の教科指導に生かせる内容だったことがわかる記述が多くありました。



講師の野池 知枝美 先生

CAN-DO リストで、身に付けさせたい力を明確に

◆1/24(金) 英語科教材研究

講師 学校教育課指導主事 橋立 英基

この講座は学校教育課橋立英基指導主事の担当で開催しました。そこでは、まず、CAN-DO リスト作成の背景について、グローバルな視点からの説明があり、CAN-DO リスト活用の意義を確認できました。このリストは、授業に入る前に身に付けさせたいコミュニケーション力を明確にできるメリットがあり、実際の実践紹介で研修を深めていく内容となりました。参加者の感想として「これからの英語教育に欠かせない視点を学ぶことができた」「実際に単元に入る前にどんなコミュニケーション力を付ければ良いかがわかるので安心して授業づくりができる」等、今後の指導改善につながる記述が多くありました。



講師の橋立 英基 指導主事

教師としての在り方を学ぶ

◆2/18(火) 若手サポート研修 閉講式

今年度は15人の受講者があり、5月～2月までの期間、各自が設定したテーマに沿って研修を深めました。そこでは担当指導主事とともに事前に指導案を検討したり、授業後の協議会を行ったりしながら、指導力の向上を図りました。また、教師としての在り方についても吸収する期間となったと思います。

受講者の振り返りには、

- 自分の授業について指導主事の先生からマンツーマンで指導してもらったことで、具体的に次への課題が明確になりました。
 - 授業VTRを見ながら指導主事の先生ともう一度授業を振り返ることで、改善点だけでなく、自分のよさも指摘していただきました。これにより自信が持て、今後さらに努力しようと決意するきっかけとなりました。
 - 5月の開講式と今日の閉講式で、他の先生の決意や実践内容を知ることができ刺激となりました。自分の学校に戻って、周りの人と研修を進めていきたいと思います。
- 等、充実した研修であったことがわかる記述が多数ありました。



吉田管理兼指導主事からのお話

いい地域には、いい学校を創ろうと汗す人々のつながりができる…

◆2/22(土) 第12回 柏崎の教育を語る会 in アルフォーレ

今年で12回目を迎える「柏崎の教育を語る会」。

開会で大倉政洋教育長から「いい地域には、みんながいい学校を創ろうと汗を流す人々のつながりができます。そしてつながりができていくことでさらにいい地域になっていきます。これをすばらしい循環、うねりにしていきましょう」とのあいさつがありました。

続く「子ども会議2014」では、3名の中高生が、今後の柏崎の理想像とその中で生き方を語りながら、今の自分がやらなければならないこと、そして地域から応援してもらいたいことを述べました。将来を見据えた発言に頼もしさを感じるとともに、地域や保護者はどんな支援をすれば良いかを考えるヒントになりました。

さらに、タブレットを用いながら各地域での学校支援について、子どもの姿で語る紹介があり「最初の段階での課題の共有」の大切さを実感する場となりました。

教職員、保護者ともそれぞれ100名以上、計約350名の参加がありました。今後も、柏崎市全体で、ともに歩む地域の学校づくりを推進していくうねりを創っていくようにしたいと思います。



オープニング 大倉教育長のご挨拶



子ども会議 2014



エンディング 合唱「ふるさと」



クイズで gon!

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆コンテンツサーバ(スクールオフィス)

登録日	資料名
2/24	NO.11_年度更新講習.pdf (第4版) 年度更新チェックリスト.pdf (第4版)

◆コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
2/17	ALT News Letter 第27号

◆コンテンツサーバ(ポリシー/サポート関連)

登録日	資料名
1/22	i-FilterV8 設定手順書.pdf (PC 教室系ネットワーク用のフィルタリング設定に関する説明書)

◆コンテンツサーバ(学校教育研究会実践記録集)

登録日	資料名
2/10	平成25年度の生徒指導研究部実践報告集

◆柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名/資料名
1/17	デジタルアルバム作成入門 デジタルアルバム作成入門.pdf (第2版)

■ 情報関連講習会のご案内

3月に実施される講習会

◆H26.3.12(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その10

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ スクールオフィス情報

年度末、年度始め処理のポイント

◆クラス替えやクラス数の変更は新年度になってから

成績管理システムの利用が始まりましたので、年度内にクラス替えを行ってしまうと、成績の入力や指導要録の作成・出力に影響してしまいますので注意してください。

また、仮年度で次年度のクラス数を減らしてしまうと(今年度2クラス、次年度から1クラスなど)、年度更新時にそれまで所属していたクラスがなくなってしまう、「未所属」となる児童生徒が発生してしまうため、このようなケースでは自動的に元のクラス数(2クラス)に戻されます。新年度になってから、クラス替えを行った後に減らすようにしてください。

◆転出・退職者の離任処理のタイミングに注意

教職員名簿に離任日を入力すると、その日付に関わらず、保存した時点で離任処理が行われます。以降そのユーザーはログインできなくなりますので注意してください。

◆年度更新時のチェックボックスに注意

年度更新処理を実行する場合は、以下のチェックボックスの扱いに注意してください。仮年度で用意しておいたことが無効になる場合があります。

【仮年度がある場合】

2010 年度データから **2011 年度** のクラスを生成します。
※すでに、来年度 [2011] のクラスデータは作成されています。

すでに次年度のマス目が仮年度更新で作成済みです。再作成する。

学校基本情報：クラスマス目、項目定義、学期構成、校時パターン、学年別授業時数、休祝祭日マス目
時数管理、授業カード、年間授業時数、特別教室専科マス目

未就学児童を次年度の1年生とする

① 最終学年以外のクラスはそのままの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。

② 最終学年のクラスはそのままの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。

③ 未就学児童は、未就学児童のクラス構成で1年生として引き継がれます。

④ 未就学児童は、未就学児童のクラス構成で1年生として引き継がれます。

⑤ 卒業となった児童生徒のシステムへのユーザアカウントは削除されます。

⑥ 項目定義、学期構成、校時パターン、学年別授業時数、休祝祭日設定マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。
(ただし、年間校時、年間行事は新たに設定する必要があります。)

⑦ 成績、保健管理のマス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。

⑧ 時数管理の年度更新も自動的におこないます。
授業カード、年間授業時数、特別教室専科マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。

【仮年度がない場合】

2009 年度データから **2010 年度** のクラスを生成します。

未就学児童を次年度の1年生とする

① 最終学年以外のクラスはそのままの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。

② 最終学年のクラスはそのままの構成で次年度(次学年)クラスが生成され、在校生はそのまま引き継がれます。

③ 1年生は、所属児童生徒はいなくなります。
(ただし、所属児童生徒は、所属児童生徒のクラス構成で1年生として引き継がれます)

④ クラスは、所属児童生徒は、所属児童生徒のクラス構成で1年生として引き継がれます。

⑤ 卒業となった児童生徒のシステムへのユーザアカウントは削除されます。

⑥ 項目定義、学期構成、校時パターン、学年別授業時数、休祝祭日設定マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。
(ただし、年間校時、年間行事は新たに設定する必要があります。)

⑦ 成績、保健管理のマス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。

⑧ 時数管理の年度更新も自動的におこないます。
授業カード、年間授業時数、特別教室専科マス目はそのまま次年度マス目として引き継がれます。

◆転入者向けに「スタートアップテキスト」を用意しました

市外からの転入者向けに、すぐに知っておくべき内容をまとめたテキストを用意しました。柏崎市の環境がどうなっているか、校務 PC を使い始める際に必要な情報や設定、情報セキュリティポリシーに関する情報など、チェックシートを兼ねた作りになっています。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報 (Windows)

マイクロソフトより、2月12日付で2月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が4件、「重要」が3件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

プロジェクト K

柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより

今年度理セン事業について報告します！

今年度もあとわずかになりました。おかげ様で当理セン主催の各種研修事業は終了し、残すところ要請事業のみとなりました。今年度実施済みの事業について、以下にご報告します。

1 研修事業

① 主催研修 24回

予定していた全研修を修了しました。参加人数は昨年度を上回り130人増。中学校の先生の参加も増えてきました。来年度も魅力的な研修を計画するよう努力していきます。

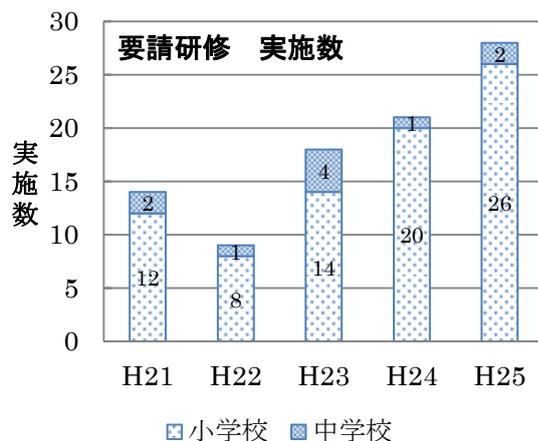


野鳥観察会（5月実施）



単元別研修会（8月実施）

② 要請研修



1月末現在で28件の要請研修をお受けしました。昨年度より11件増加しました。今年度も科学研究の勧めや、プラネタリウム、植物観察会、科学クラブ、川や地層の野外授業、放射線教育・・・といったように多岐にわたって行いました。「放射線教育をまだやってなかった！」という学校さん、ぜひ、理科センターへお電話ください。喜んで行かせていただきます。



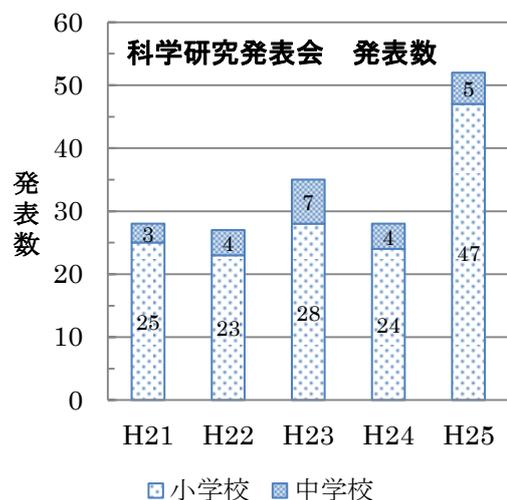
科学クラブ要請

2 科学振興事業

① 科学研究発表会

昨年度より発表数は増加しました。特に小学生の参加が大きな増加をみせました。先生方のご指導のおかげで科学研究発表会にもぎやかに行うことができました。ありがとうございました。

しかし参加学校数を見ると中学校は2校（全体の14%）小学校は16校（全体の76%）となり、中学校の参加率が大変低いことが分かります。小学生の時は科学研究に取り組んでいたのに、中学校へ行ったらぱったりしなくなるというケース



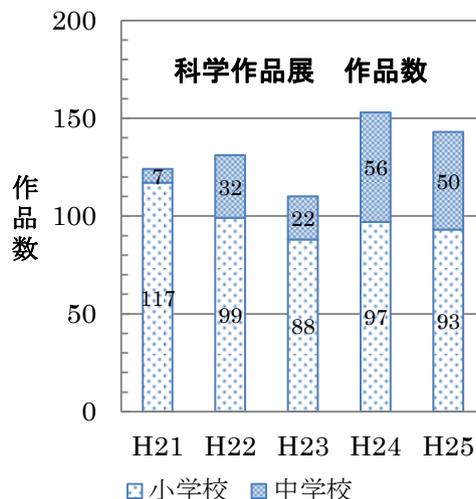
が多いようです。つながりがうまくいっていないためなのでしょうか。宿題の出し方の違いなの
でしょうか。

夏休み明けから前期終了までの間で、発表会までの追実験、資料製作、事前指導が大変であるこ
とは重々承知しておりますが、来年度はより多くの児童生徒から発表してもらえよう年度当初か
らの計画をよろしく願いいたします。

② 科学作品展

昨年度より少し作品数は減少しましたが、今年度も
多くの優れた作品が集まりました。県の生物標本展で
も柏崎刈羽地域から多くの作品が出品され、素晴らし
い賞に入賞する作品もありました。

参加校数はほぼ昨年とかわらず小学校17校（全
体の81%）中学校7校（全体の54%）合計24校で
した。いつもご協力ありがとうございます。来年度も
多くの児童生徒の作品をお待ちしています。



研修会・事業の様子

- 要請研修『放射線学習』（1月22日実施）荒浜小学校5年生
（1月23・24日実施）剣野小学校2年生

◇内 容

荒浜小学校の研修では対象が5年生ということで、前
半は放射線の飛跡の観察を通して、身の回りには自然放
射線が飛び交っていることを知り、放射線の特徴から放
射線の利用について学びました。後半は放射線を多量に
浴びることになってしまった時の危険性を考えさせま
した。事故等で放射線が多量に放出されてしまったとき
よりよい命の守り方を学びました。

剣野小学校2年生は放射線学習の要請の中では一番
の低学年でした。なるべく難しくならないように今まで
90分でやっていた内容を厳選し、45分間に縮めて実
施しました。ねらいは自然放射線を知ること、放射線の
量が何らかの事故で多くなってしまった時の怖さを知
り、身の守り方を考えることです。

今年度内の要請研修は、まだまだお受けできます。放
射線教育をやりたいけれど実施できていない学校は、ぜ
ひお声をかけてください。



荒浜小学校 5年生



剣野小学校 2年生



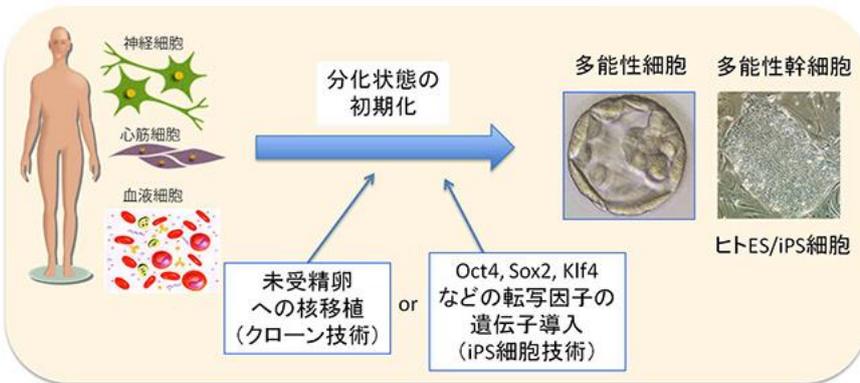
ホットニュース『STAP細胞』



1月29日独立行政法人理化学研究所の小保方晴子さんを中心としたチームが発表したSTAP細胞のニュースが、大きな話題になっています。生物学の常識を変える、とも言われるこの発見。どのようなものなのでしょう。

まずヒトを含む動物は、受精卵という一つの細胞から出発して60～100兆個、体内でさまざまな役割を果たす250種類程度の「体細胞」へと分裂・分化していきます。そして、いったん分化すると元に戻らない・・・ということが今までの常識でした。しかし、近年、分化した細胞が初期化され、さまざまな種類の細胞になるいわゆる「万能細胞」が再生医療に役立つものとして開発されてきました。

細胞の分化状態の初期化に関する従来の考え方



その万能細胞として有名な2006年に山中伸弥教授が作成に成功したiPS細胞は、分化が進んだ細胞に特定の遺伝子を導入することで、ES細胞と同じようにさまざまな細胞に分化する能力（多能性）を得た人工幹細胞です。

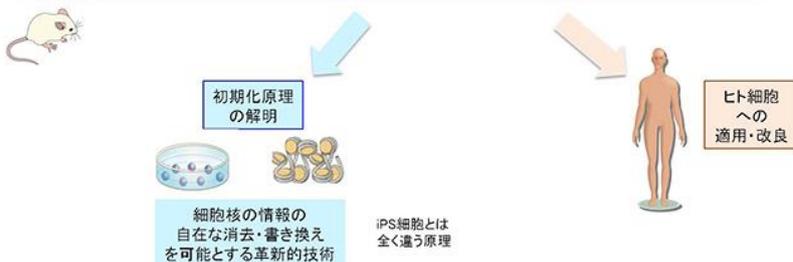
ES細胞とiPS細胞の共通点は、「細胞に複雑な操作を加える」ことです。

それに対して、STAP細胞は体細胞に強い外部刺激を加えるだけで多能性をもった細胞ができるというのが大きな特徴です。このことは『動物細胞では初期化は通常起こらない』とされてきた常識をくつがえし、細胞の初期化が生理条件下でも起こりうる可能性を見せてくれます。

しかし、植物では、細胞外の変化するだけで分化状態の初期化が起こる



研究成果のまとめ と 今後の展望



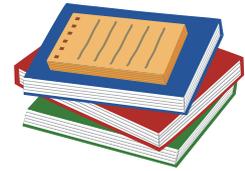
図表出典：理化学研究所

ホームページ

<http://www.riken.jp/>

教科書読書のすすめ

教育センター内には、教科書センターが併設されています。ここでは、各種小中学校教科書はもちろん、来年度から採用予定の高等学校の教科書も閲覧することができます。高等学校の教科書は、近年の科学の進歩を取り入れてわかりやすく書かれています。ちょっと復習したい、知りたい、教養を深めたい、そんなときに、高校の教科書を見てみるのはいかがでしょうか？



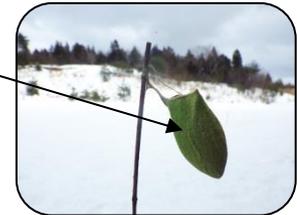
冬の森探検にでかけてみませんか？

クイズ！右の写真をみてください。これは何だと思いませんか。



これは、ウスタビガのさなぎの繭です。
(葉ではありません！)

冬の森を探検するといろいろな蛾の種類の繭に出合えます。種類によって繭の色や形はさまざまです。天気のいい日に夢の森公園などを散歩してみませんか？



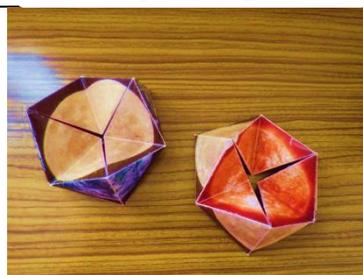
光のたまご



なんでもゴマ



六角がえし



カライドサイクル



おりこうわんちゃん



くるくる浮沈子



かたかた下り



スリッパフォン

センターの廊下に飾ってある科学工作の例です。作り方も簡単なのでちょっと時間が余ったようなときに児童生徒とともに、ものづくりを楽しむのもいいですね。作り方などはセンターまでお問い合わせください。

心の窓

No.174

☆ふれあいルームより☆

ルーシーダットン教室&スキー体験



ふれあいルームの通級生たちも、冬の間は屋内で過ごすことが多くなり、どうしても運動不足になります。寒さで体も縮こまってしまうと、姿勢もうつむきがちになって心まで固まってしまう。

そんな冬の時期だからこそ、ふれあいルームではルーシーダットン教室を行っています。講師は渡辺美香先生です。毎年お世話になっています。ルーシーダッ

トンは（仙人ストレッチ）という意味で、タイ式ヨガとも言われています。先生の指導を受けながら、深い呼吸と共にいろんなポーズをとっていきます。ゆっくりとした運動ですが、自然と体が温まってきて、気持ちよく体を伸ばすことができました。心身共にスッキリして、とても良い体験になりました。

そして、冬の運動第2弾は、ガルルスキー場でのスキー体験です。当日の天候は雪で、青空を見ることはできませんでしたが、素晴らしい雪質のゲレンデをほとんど貸切状態で滑ることが出来ました。

1年ぶりに滑る子は、始めは腰が引けていましたが、慣れるにしたがって思いきり楽しんで滑っていました。気温の低い寒い一日でしたが、みんなで沢山運動をして汗をかくことが出来ました。



(ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法)



教育相談班 3月の予定

《ふれあいルーム》

13日(木) 保護者会

24日(月) 通級終了日

《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 7日(金) 小学校A・B保護者会 15:00
- 14日(金) 小学校C保護者会 15:00
- 19日(水) 中学校①保護者会 15:00
- 20日(木) 中学校②保護者会 15:00





児童クラブにおじゃましました！

12月から1月にかけて比角第一児童クラブをはじめとして4箇所の児童クラブやコミュニティセンターを訪問して、育成座の活動を行いました。

育成座はこれまで、各学校を訪問していましたが、今年度は、児童クラブ等からの依頼を受け、公演に出かけています。

育成座は、青少年育成委員のOBや現役の育成委員で構成されており、主として、子どもたちの安全・安心を守るための啓発活動を行っています。

今回は、「大人に知らせる勇気」というテーマで寸劇を行いました。「不審者に出会ったときは、大きな声で大人に伝えることが大切である」ことを子どもたちに伝えました。また、「こども110番の家の利用のしかた」や「困ったときは誰にでも助けを求めてよいこと」なども、伝えました。

育成座の人気キャラクター「まさ子ちゃん」の登場で子どもたちは大喜び。「まさ子ちゃん」からの問いかけや子どもや近所の大人に扮した座員からの呼びかけに元気な声で返してくれました。

不審者に出会ったときの対応は、子どもたちはよく理解していますが、行動に移すことはなかなか難しいのではないかと考えます。このように繰り返し指導していくことが大切と考え、公演を続けています。

そのほかに、子ども育成にかかわる「紙芝居」や「カルタとり」、「コマ遊び」など、子どもたちと座員との遊びをとおして、子どもたちの心に寄り添う活動も行っています。

子どもたちの元気なパワーやお礼の手紙をもらって育成座のメンバーもますますやる気になっています。これからも、いろいろな所からの要請に応じていきたいと思っております。ご要望がありましたら、青少年育成センターまでご連絡ください。



育成委員研修会を行いました

青少年育成委員の研修会を去る2月8日（土）に、市民プラザで行いました。

今年度の育成活動の反省や今後の予定について話し合った後、研修会に移りました。

最初に柏崎警察署生活安全課係長 名塚克則様から、「少年補導の現状」というテーマでご講話いただきました。



- 県の青少年の不良行為における検挙率は減っており、良い子になっている。特に中越沖地震以降改善されている。
- 万引は、高齢者が増えているが、少年は減っている。
- 育成委員などが、喫煙している青少年を見かけたときは、上から目線でなく、たまにはジョークを交えながら継続させないような声かけをすることが大切。
- あまり使われていない地下道や公園のトイレなどが、喫煙の温床になりやすい。犯罪を起こさせにくい環境

づくりが大切である。

など、青少年育成にかかわるご指導をいただきました。

そのほかに、高齢者の振り込め詐欺被害が多発しており、柏崎市内だけでも2億数千万円の被害に達しているのを気付けてほしいなどのお話もいただきました。育成委員にとって、とても参考になりました。

その後は、育成座による寸劇を見ながら、「育成委員の任務（望ましい声かけ）」について研修しました。

「街頭での飲み歩き、地べたでの座り込み」「歩きスマホ」「公園での様子」の3場面での声かけのしかたについて取り上げ、一緒に考えました。

- 上から目線で話しかけない。
→ 子どもたちを取り囲まず、目線を合わせて話す。
 - やっている行為を命令口調で咎めない。
→ 一方的に注意するのではなく、子どもたちの気持ちに寄り添って反省を促すように話しかける。
- など、育成座の熱演に、ときどき笑いも起こる中での和やかな研修となりました。



これまでの育成活動のあり方を反省し、今後の活動の指針を示す機会になりました。

子ども・若者支援状況の取りまとめ

平成21年に子ども・若者育成支援法が施行され、学童期から30代の若者まで総合的に支援することが求められています。子ども・若者育成支援については、行政、関連団体等多くの部署で取り組んでいただいていることから、相互の取組状況を知っておくことが重要であると考え、平成25年度の事業実施状況を取りまとめています。4月中には印刷して、今後の活動に活かしていきたいと思っています。

3月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	相:いろいろ体験グループ保護者会(小A・B) 15:00-
8	土	
9	日	
10	月	相:班会議13:00-
11	火	
12	水	情:フリーQ&A
13	木	ふ:保護者会15:00-
14	金	相:いろいろ体験グループ保護者会(小C) 15:00-
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	相:いろいろ体験グループ保護者会(中①) 15:00-
20	木	相:いろいろ体験グループ保護者会(中②) 15:00-
21	金	春分の日
22	土	
23	日	
24	月	ふ:後期通級終了
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	
研:教育研究班 科:科学技術教育 相:教育相談班		
ふ:ふれあいルーム 情:情報教育研修 育:育成センター		



所 員 随 想

身近なしあわせ

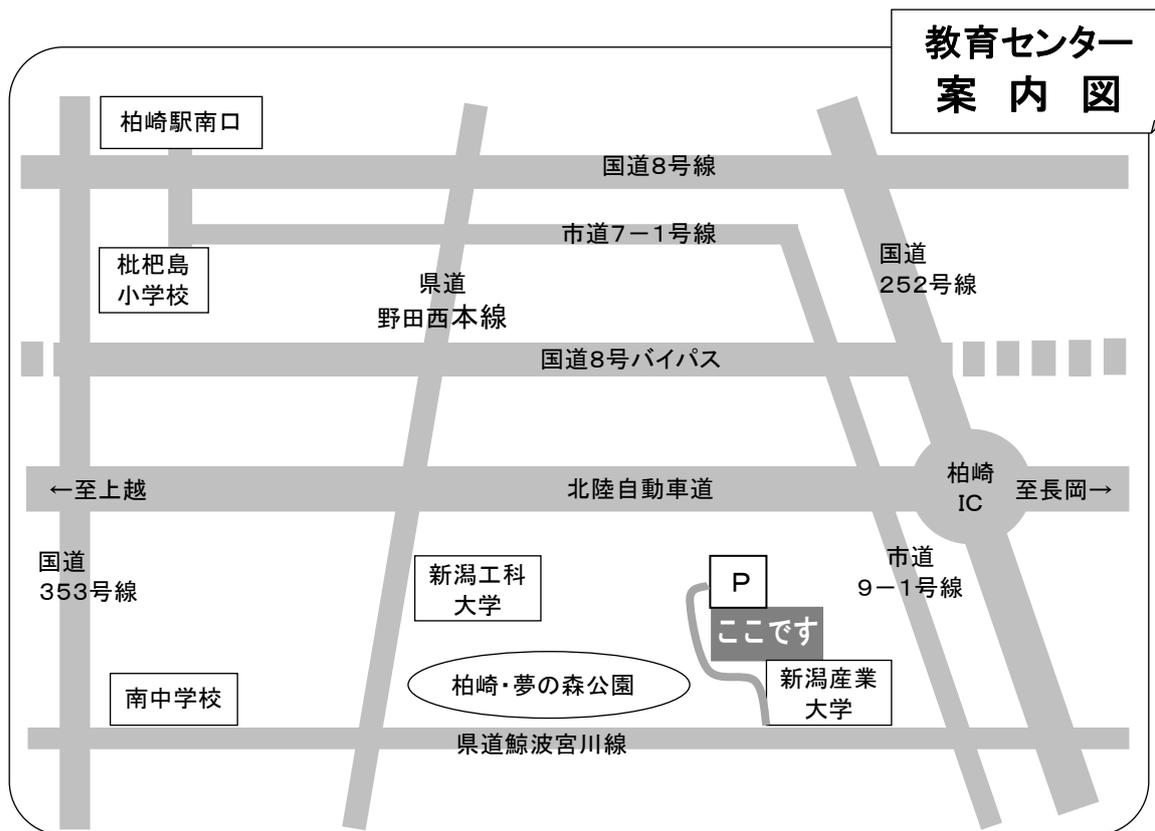
教育相談班 相談員 鈴木 皓子

今冬、新潟は小雪とはいえ、寒さに身が縮こまる季節の到来には変わらない。しかしそれがゆえに、温かいものが一層美味しく感じられる季節でもある。美味しい食事は心まで温かくするような気がする。

そんな中、先日炊飯を大失敗した。スイッチひとつの電気炊飯器で、だ。あとは炊飯スイッチを押すだけの状態で置いておいたつもりが、どうやら「保温」になっていたらしい。異変に気づき炊飯器を開けてみると、水に浸った生米が数時間温められて膨らみ、一見炊き上がったようになっていた。が、触ってみると硬い。明らかにいつもと違う。一縷の望みにかけて、正規の通りに炊飯スイッチを押し、朝を待ってみた。結果、ご飯が最高に不味い。食感がおかしいのはもちろんのこと、ご飯のもつ甘みがなく、まるで味がしない。しかしそんなときに限って大量に炊いていたりするのだ。ああ、もったいない。

多くの家庭で、当然のように毎日の食卓に並ぶ白飯だが、“ご飯が美味しい”というしあわせを改めて感じる出来事だった。米どころ新潟で生まれ育ち、毎日美味しいご飯が食べられることへの感謝の気持ちと、食事が美味しいということにしあわせを感じられる心の余裕を持っていたいと思う。

ちなみに、失敗したご飯は雑炊等にして手を加えてなんとか食した。そして、次から炊飯時の確認を入念に行おうと心に決めたのだった。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2 (新潟産業大学キャンパス内)

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができます。ほか、小・中学校の教科書は、貸し出しも行っています。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成26年2月発

=====